

第2学年 生活科

1、 単元名	おいしいやさいをそだてたい		
2、 単元の目標	<p>○継続的に植物を栽培する活動を通して、これまでの栽培の経験を生かしながら、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち大切にしようとする。</p> <p>○栽培活動で自分たちが気付いたことや学んだことの発表を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。</p>		
3、 単元の評価 基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	○継続的に野菜を栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○継続的に野菜を栽培する活動を通して、これまでの栽培の経験を生かしながら、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○継続的に野菜を栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

4、指導計画（全27時間 /内 国語3時間 図工1時間）

過程	時間	学習活動
一次	14	<p>【おいしいやさいをそだてたい】</p> <p>○知っている野菜を話し合い、育てたい野菜を考える。（個人・グループ）</p> <p>○畑を耕し野菜作りの準備をし、たねや苗を植える。</p> <p>○育て方を調べ、農家さんから学んで分かったことをまとめる。</p> <p>○野菜の世話や観察をし、疑問に思ったことを地域の野菜作り名人に質問する。</p> <p>○野菜の形や大きさを確かめて収穫し、喜びを味わう。</p> <p>○畑の耕しから収穫までの記録をまとめ、世話をして気づいたことを振り返る。（今までの活動を振り返るとともに、これからの栽培活動についても考える。）</p> <p>→○秋野菜を自分たちだけで育ててみよう。</p>
二次	8	<p>【こんなやさいをそだてたよ】</p> <p>○野菜作りを経て特に伝えたいことを個人でまとめ、野菜ごとにグループで整理し、発表方法を決める。</p> <p>○学年合同で同じ発表内容のグループで集まり役割分担をして発表の準備をし、学習発表会で、発表する。</p> <p>○学習発表会で、感謝の気持ちをこめて発表する。</p>
三次	4	<p>【自分たちで作る心をこめたとくせいやさい】</p> <p>○自分たちで育てる秋野菜を決め、育て方を調べる。</p> <p>○育てた秋野菜を使って、収穫祭をする。</p> <p>○今までの学習や発表を通して振り返りをする。</p>

5、展開例

(1) ねらい

- ・自分と野菜との関わりを思い返しなが、伝えたいことを整理することができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	○支援 ☆評価
導入	・前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	○記憶を想起しやすくするために、野菜の育て方の一覧を掲示し視覚化する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいこととその理由や詳しいエピソードをグループで出し合う。 ・クラゲチャートの付箋を動かし、合わせたり追加したりして意見を整理する。 	<p>○円滑に話し合いができるよう、歯科医・書記を決める。</p> <p>○伝えたいこととその理由は、前時に記入したクラゲチャートを活用する。</p> <p>○今までの栽培の出来事を想起しやすいように、これまで記入したものを参考に見てさせる。</p> <p>○自分の考えと話し合いのによって得られた考えの違いが視覚化できるよう、付箋の色を変える。</p> <p>○話し合いが円滑に進まなかった場合や視野を広げさせたい場合は、途中で他グループの考えを見に行かせる。</p> <p>☆伝えたいことが相手に伝わるかどうか考え、内容を整理したり、見直したりしながら、内容や伝え方を選んでいるか。 (ワークシート・発言・行動観察)</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに伝えたいことをクラスで共有する。 ・今日の学習を振り返り、次の時間の計画を立てる。 	<p>○他グループの考えの相違点を見つけられるように声掛けする。</p> <p>○児童の伝えたいことの原因や思いを価値づける。</p>

6、学習材設定上の留意点（地域、ボランティアコーディネータとの連携等）

- ・農家の吉川さんの畑をお借りし、トウモロコシ（1 学期）・サツマイモ（2 学期）を収穫した。また、育て方について質問に答えていただいた。
- ・里山の会の皆さんに、学年畑の土づくりと、夏野菜・秋野菜の育て方について直接教えていただいた。また、児童の質問にも答えていただいた。（1 学期・2 学期）